ルパン三世
THE FIRST



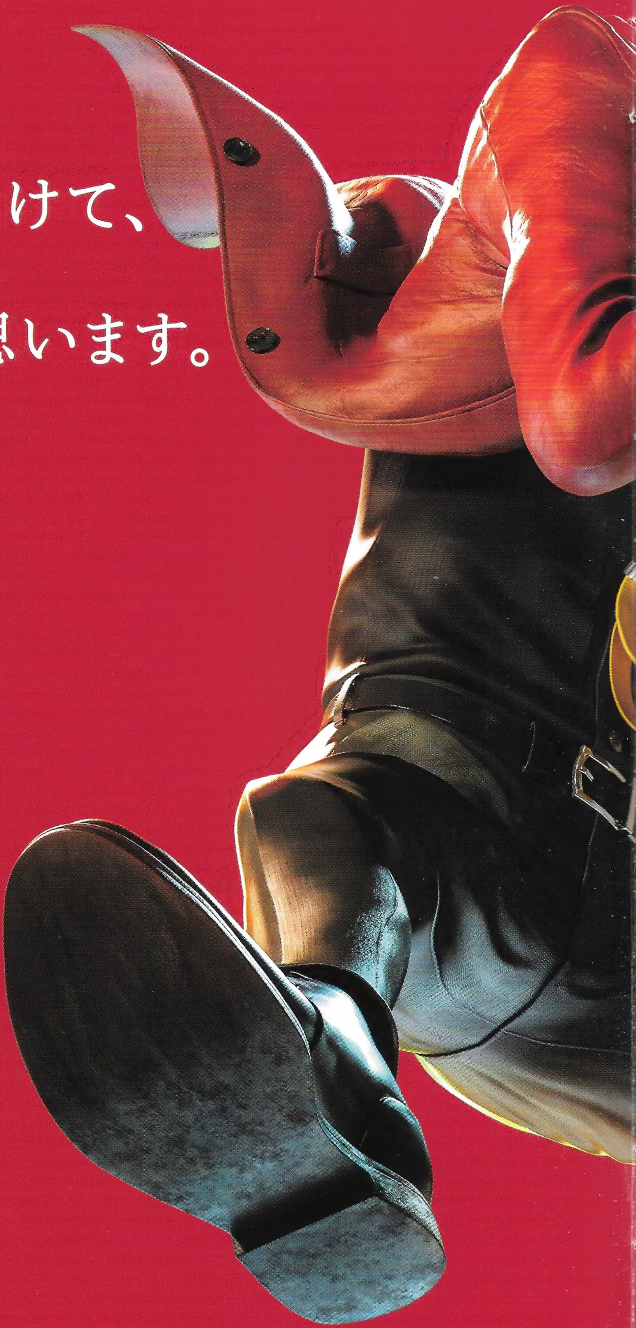
LUPIN THE THIRD

これからもルパンを世界に向けて、

いろんな冒険をさせたいと思います。

2017年7月





INTRODUCTION



不朽の名作『ルパン三世 カリオストロの城』から40年──。

原作者モンキー・パンチ悲願の3DCGによる、

「ルパン三世」23年ぶりの劇場版がスクリーンに参上!!

1967年「漫画アクション」にて連載が始まった「ルパン三世」。
モンキー・パンチが描く、ルパンと一味たちの冒険活劇は瞬く間に話題となり、71年にはTVアニメ「ルパン三世」(PART1)の放送が開始され、77年から放送されたTVアニメ「ルパン三世」(PART2)での赤いジャケットを着たルパンの、カッコいいながらおちゃめでコミカルな姿が多くの人の心を掴み、人気の地位を不動のものとしました。
その後もシリーズ初の劇場版『ルパン三世 ルパンVS複製人間(クローン)』(78)や、あの宮崎駿監督の映画初監督作品『ルパン三世 カリオストロの城』(79)など、現在でも色褪せることなく愛される数々の名作たちを世に送り出してきました。

そんな不朽の名作『カリオストロの城』から40年、日本のVFXの第一人者である山崎貴(『STAND BY ME ドラえもん』『ドラゴンクエスト ユア・ストーリー』)によってシリーズ初となる3DCGアニメーションで23年ぶりとなる劇場版の制作が決定!
この企画は、2019年4月にこの世を去った原作者モンキー・パンチ先生、悲願の企画であり、3DCGになったルパン一味のキャラクター設定資料を観て「ワクワクするね」とコメントするなど、完成を心待ちにしていた作品。
この作品のサブタイトル「THE FIRST」には、劇中に登場するブレッソン・ダイアリーが、ルパン一世が唯一盗み出すことに失敗した因縁のお宝であることに加え、新たに山崎貴を監督に迎え、シリーズ初となる3DCGアニメーションで描かれた「ルパン三世」新時代突入の記念すべき第一作であるという想いが込められています。

声優陣にはもちろん「ルパン三世」シリーズのオリジナルキャストが集結! 栗田貫一、小林清志、浪川大輔、沢城みゆき、山寺宏一ら、チームルパンが3DCGルパンに命を吹き込みます!
また本作のゲストキャラである、考古学に興味があり、ブレッソン・ダイアリーの謎をルパンと一緒に解き明かすこととなる少女・レティシア役に広瀬すず、ブレッソン・ダイアリーを狙う秘密組織、アーネンエルベの研究者・ランベール教授役に吉田鋼太郎、ランベールに指示を出す謎の男・ゲラルト役に藤原竜也といった日本を代表する名優たちが出演。

令和最初の冬に3DCGとなった「ルパン三世」が、日本中の“心”を盗みます。



STORY



初代(アルセーヌ)ルパンが
たどり着けなかった夢に挑め!
『カリオストロの城』から40年、
新ヒロイン・レティシアとルパンの
新たな物語。

かのアルセーヌ・ルパンが唯一盗むことに失敗した秘宝ブレッソン・ダイアリー。
その謎を解き明かしたものは莫大な財宝を手にするといわれている。
そんな伝説のターゲットを狙うルパンは考古学を愛する少女レティシアと出会い、2人で協力して謎を解くことに。しかし、ブレッソン・ダイアリーを狙う秘密組織の研究者ランベールと、組織を操る謎の男ゲラルトが2人の前に立ちはだかる……。
ブレッソン・ダイアリーに隠された驚愕の真実とは一体!?

パリ、メキシコ、ブラジル——
かつてないスケールのお宝争奪戦(ワールドミッション)が
幕を開ける!!









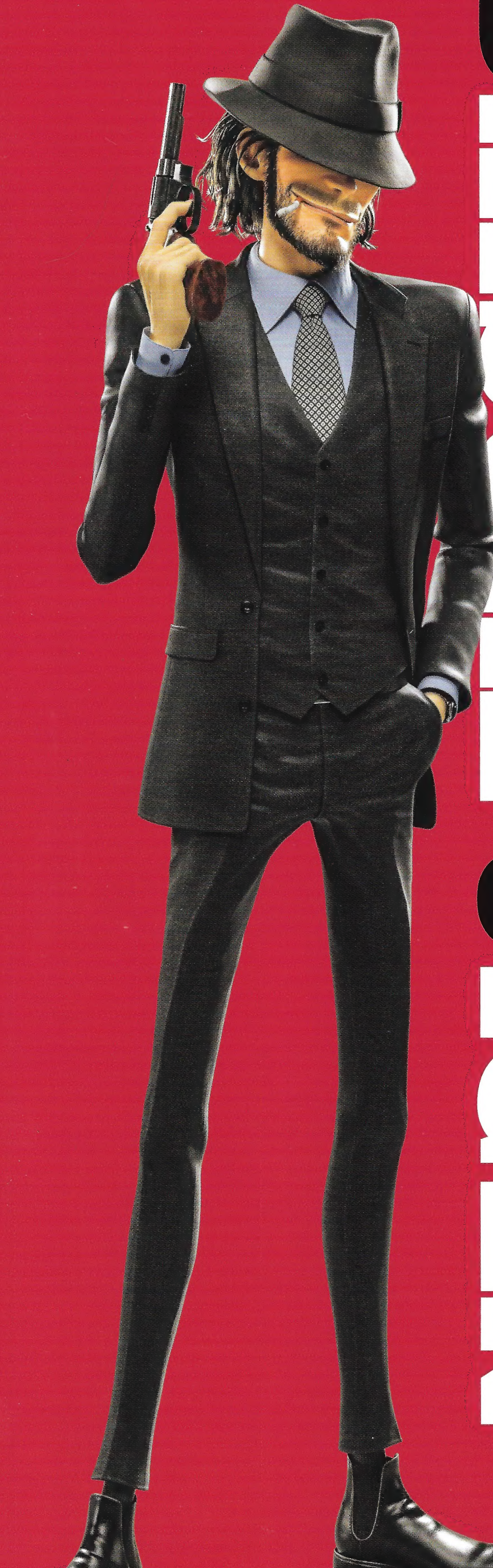
LUPIN THE THIRD



ルパン三世

かのアルセーヌ・ルパンの孫であり、狙った獲物は必ず奪う神出鬼没・天下の大泥棒。抜群の身体能力と明晰な頭脳で盗めないものはないとされるが、美女に甘いのが唯一の弱点。

DAISUKE JIGEN



次元大介

言わずと知れたルパンの相棒。卓越したガンさばきは世界で並ぶものがいない。酒とタバコをこよなく愛し、常にクールに状況を把握して一味のピンチを切り抜ける。

GOEMON ISHIKAWA



石川五ェ門

剣の道に生きる大泥棒の末裔にして居合の達人。この世に斬れぬ物はない。唯一無二の相棒・斬鉄剣と共に修行の日々を送っている。

FUJIKO MINE



峰不二子

類まれなる美貌とプロポーション、そして天才的頭脳を併せ持つ。己の欲望に忠実で、目的のためならためらいなく他人を裏切る魔性の女。

INSPECTOR ZENIGATA



銭形警部

ICPO（インターポール）のルパン三世専任捜査官。ルパンの逮捕に並々ならぬ執念を燃やし、ルパン参上の一報あらば世界中のどこにでも駆けつける。

LAETITIA



レティシア

ブレッソン・ダイアリーの謎を追う少女。考古学が大好きで、その知識にはルパンも舌を巻く。

LAMBERT



ランベール

ブレッソン・ダイアリーを追い求める秘密組織の研究者。かつてはその優秀さから、有名な研究機関の創立メンバーに選ばれるなど、輝かしい過去を持っていたが……。

GERALD

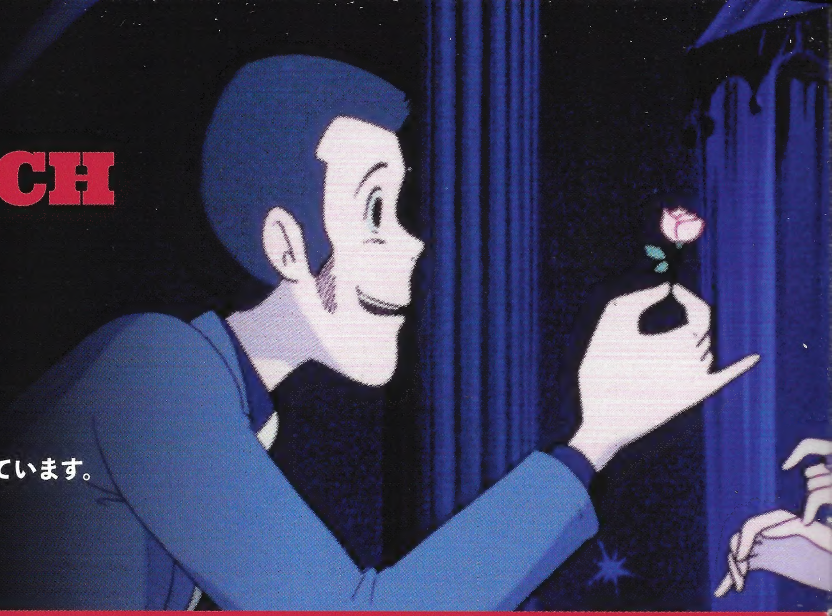


ゲラルト

ランベールに指示を出す謎の男。目的のためには手段を選ばない冷徹な性格で、なかなか研究成果をあげられないランベールを軽蔑している。

MONKEY PUNCH

モンキー・パンチ



ずっと待ち望んでいた3DCGのルパン三世です。
キャラクターやストーリーを拝見したけど、
新しい感覚がいっぱいつまったルパンになりそうで、
どんな作品になるか想像するだけで、今からワクワクしています。

（2018年10月）

HISTORY ルパンシリーズ年表

- 1967 漫画アクションにて「ルパン三世」連載開始
- 1971 TVアニメ「ルパン三世 PART1」
- 1977 TVアニメ「ルパン三世 PART2」
- 1978 劇場版『ルパン三世 ルパンVS複製人間（クローン）』
- 1979 劇場版『ルパン三世 カリオストロの城』
- 1984 TVアニメ「ルパン三世 PARTIII」
- 1985 劇場版『ルパン三世 バビロンの黄金伝説』
- 1989 TVSP「ルパン三世 バイバイ・リバティー・危機一発！」
- 1990 TVSP「ルパン三世 ヘミングウェイ・ペーパーの謎」
- 1991 TVSP「ルパン三世 ナポレオンの辞書を奪え」
- 1992 TVSP「ルパン三世 ロシアより愛をこめて」
- 1993 TVSP「ルパン三世 ルパン暗殺指令」
- 1994 TVSP「ルパン三世 燃えよ斬鉄剣」
- 1995 劇場版『ルパン三世 くたばれ！ノストラダムス』
- TVSP「ルパン三世 ハリマオの財宝を追え!!」
- 1996 劇場版『ルパン三世 DEAD OR ALIVE』
- TVSP「ルパン三世 トワイライト☆ジェミニの秘密」
- 1997 TVSP「ルパン三世 ワルサーP38」
- 1998 TVSP「ルパン三世 炎の記憶～Tokyo Crisis～」
- 1999 TVSP「ルパン三世 愛のダ・カーポ～FUJIKO's Unlucky Days～」
- 2000 TVSP「ルパン三世 1$（ワンダラー）マネーウォーズ」











ORIGINAL

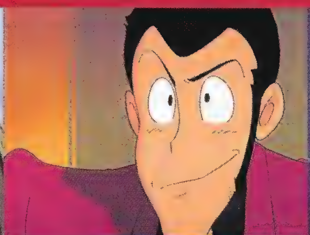
モンキー・パンチ

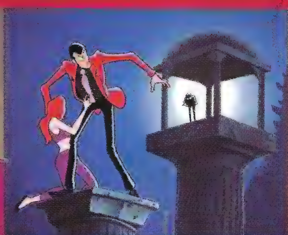
1937年－2019年、北海道厚岸郡浜中町出身。漫画家。
北海道霧多布高等学校を経て、65年「漫画ストーリー」に「プレイボーイ入門」を発表しメジャーデビュー。66年、ペンネームをモンキー・パンチに改名。67年、「漫画アクション」創刊号より「ルパン三世」の連載を開始。第1話から巻頭掲載の上表紙も飾り、アメリカンコミックテイストの斬新なタッチと、大人向けのハードボイルドな内容が当時の若者を中心に高い支持を集め、テレビアニメ化、映画化を経て、現在に至るまで幅広い年齢層に支持を受けている。03年、デジタルマンガ協会を設立。初代会長に就任。その後、大手前大学人文科学部教授、東京工科大学メディア学部客員教授、大手前大学メディア・芸術学部客員教授などを歴任し、後進の育成にあたった。

ルパン三世 LUPIN THE THIRD **1967** — **2019** ルパン三世 THE FIRST

- 2001 TVSP 「ルパン三世 アルカトラズ コネクション」
- 2002 TVSP 「ルパン三世 EPISODE:0 ファーストコンタクト」
- 2003 TVSP 「ルパン三世 お宝返却大作戦!!」
- 2004 TVSP 「ルパン三世 盗まれたルパン ～コピーキャットは真夏の蝶～」
- 2005 TVSP 「ルパン三世 天使の策略(タクティクス) ～夢のカケラは殺しの香り～」
- 2006 TVSP 「ルパン三世 セブンデイズ・ラプソディ」
- 2007 TVSP 「ルパン三世 霧のエリューシヴ」
- 2008 TVSP 「ルパン三世 sweet lost night ～魔法のランプは悪夢の予感～」
- 2009 TV特別編 「ルパン三世VS名探偵コナン」
- 2010 TVSP 「ルパン三世 the Last Job」
- 2011 TVSP 「ルパン三世 血の刻印 ～永遠のmermaid～」
- 2012 TVSP 「ルパン三世 東方見聞録 ～アナザーページ～」
- 2013 TVSP 「ルパン三世 princess of the breeze ～隠された空中都市～」
- 劇場版 『ルパン三世VS名探偵コナン THE MOVIE』
- 2015 TVアニメ 「ルパン三世 PART4」
- 2016 TVSP 「ルパン三世 イタリアン・ゲーム」
- 2018 TVアニメ 「ルパン三世 PART5」
- 2019 TVSP 「ルパン三世 グッバイ・パートナー」
- TVSP 「ルパン三世 プリズン・オブ・ザ・パスト」
- **2019・12・6（金） 『ルパン三世 THE FIRST』**











INTERVIEW WITH

TAKASHI YAMAZAKI

山崎 貴監督インタビュー



監督・脚本：山崎 貴

1964年6月12日生まれ。長野県出身。2000年『ジュブナイル』で映画監督デビュー。CGによる高度なビジュアルを駆使した映像表現・VFXの第一人者。05年に公開された『ALWAYS 三丁目の夕日』が第29回日本アカデミー賞において計12部門で最優秀賞を受賞し、後にシリーズ化されるなど大ヒットを記録。その後も、『SPACE BATTLESHIP ヤマト』(10)、『STAND BY ME ドラえもん』(14／八木竜一との共同監督)、『DESTINY 鎌倉ものがたり』(17)など多くの大作・話題作を手がけ、中でも『永遠の0』(13)は、2014年年間邦画興行収入No.1のメガヒットとなった。『ルパン三世 THE FIRST』は監督作品17本目となる。

フィルモグラフィー

『ジュブナイル』(00)
『リターナー』(02)
『ALWAYS 三丁目の夕日』(05)
『ALWAYS 続・三丁目の夕日』(07)
『BALLAD 名もなき恋のうた』(09)
『SPACE BATTLESHIP ヤマト』(10)
『friends もののけ島のナキ』(11)※八木竜一との共同監督作
『ALWAYS 三丁目の夕日'64』(12)
『永遠の0』(13)
『STAND BY ME ドラえもん』(14)※八木竜一との共同監督作
『寄生獣』(14)
『寄生獣 完結編』(15)
『海賊とよばれた男』(16)
『DESTINY 鎌倉ものがたり』(17)
『アルキメデスの大戦』(19)
『ドラゴンクエスト ユア・ストーリー』(19)※総監督

——子供の頃から「ルパン三世」がお好きだったそうですね？

横浜の親戚の家に遊びに行ったとき、初めてルパンの映像を見て衝撃を受けて「なんという大人っぽいアニメーションだ。さすが都会すげぇ！」と都会とルパンの印象が一体化して、自分の中でルパンが都会的なものの象徴の一つになりました。『ルパン三世 ルパンVS複製人間(クローン)』(78)も予告編のお祭り感が素晴らしくて、ついにルパンが劇場に来る！ってワクワクして、地元長野の劇場に見に行ったのを覚えています。その後も、『ルパン三世 カリオストロの城』(79)や、テレビシリーズの「死の翼アルバトロス」「さらば愛しきルパンよ」など、宮崎駿監督の作品が特に印象に残っていますね。

——今回、監督・脚本としてこのプロジェクトに参加された経緯は？

最初は作品について相談に乗るという形で関わっていたんですが、そのうちに監督をやってみないかと言っていただいて。僕自身は白組の所属なので、なかなか難しいかなとも思ったんですが、ルパンがすごく好きですし、ルパンを手がけるチャンスなんてめったにない。「やりたいです」と言ってやらせてもらいました。この数年は週に一回、(本作の主なアニメーション制作を行う)マーザ・アニメーションプラネットに通って、アートチーム、アニメーションチーム、アセットチーム……と、連続で全チームとミーティングをしてへとへとになって帰る(笑)、という繰り返しでした。

——脚本はどのようなイメージで書かれたのですか？

日本の実写映画だと、なかなか世界を股に掛けた話は作れないですが、CG映画だったらそれができるし、やってみたかったんです。架空の場所ではなく、外国のどこかを舞台にして、『007』シリーズのような世界を股に掛けた活躍を描こうと思いました。あとは、ルパン三世は変装が得意だとか、銭形はどこまでも追いかけてくれるとか、そういうルパンならではの気持ちの良いお約束事も大事にしたいと思って入れ込みました。

——レティシアのキャラクターについてはどのようなイメージで描かれたのでしょうか？

自分の好きなことを語るときに目を輝かせる人にしたかったんです。考古学に関して語りだすとき、目をキラキラさせていて、本当に好きなんだっていうのがわかる。でもその気持ちが抑制されているのを、ルパンが解放してあげる話にしようと思いました。実は、初稿ではレティシアはもっと強かったんですよ。格闘技もできて(笑)。

——脚本が12稿、ストーリーリールを3度作られるなど、かなりストーリーを練られたようですね。

マーザはそういうハリウッド式の作り方をする会社で、それも参加したいと思ったきっかけの一つなんです。脚本があって絵コンテを書いてCG制作をするという流れではなく、声優さんの声も入れた緻密なストーリーリールを作って、それをいろんな人に見せるというプロセスを繰り返す。ですから、脚本にもいろんな人の意見が入ってますよ。印象としては合議制に近い形で作っていった感じがしますね。

——広瀬すずさん、吉田鋼太郎さん、藤原竜也さんがゲスト声優として参加されています。ゲスト声優の方々のキャスティング理由を教えてください。

広瀬すずさんは声がすごくいい。僕は彼女の魅力を支えている一番は声だと思っているんです。演出すると、これはいろんな人が言っていることですけど、その頭の良さに驚かされました。「こうしてほしい」ということを一度にいくつ言っても、一切脚本に書いたりすることなく「はい」とだけ言って、次にそれを全部やってくれるんです。藤原竜也さんと吉田鋼太郎さんは、ゲラルトとランベールにシェークスピアっぽい大芝居があるので、ぜひにとお願いしました。CG映画には、ちょうど舞台のようなお芝居が合っているような気がするんです。普通のお芝居ほどそぎ落としたものだとちょっともの足りない気がするので。

──本作には「ルパン三世」初期から関わっているレジェンド級のアニメーターさんも参加されているとか？

多くはないんですが、何シーンかはレジェンド級のアニメーターの方たちにも加わっていただいています。“これぞルパン”という絵があがってくるので楽しかったですね。今回そういうアニメーターの方とか、オリジナルのルパンの声優さんと仕事ができたりするのも、ルパン好きとしてはたまらない時間でしたね。

──音楽も大野雄二さんで。

それも嬉しかった！ 僕は角川映画世代なので、大野さんが音楽を担当された『犬神家の一族』(76)、『人間の証明』(77)、『野性の証明』(78)……あの頃の曲がすごく好きなんです。もちろん「ルパン三世」の曲もすごく好きで、刷り込まれているから、その大野さんと「ルパン」でご一緒できるなんて夢みたいですよね。特に好きなのが、『カリオストロの城』の主題歌「炎のたからもの」なんですが、大野さんに「『炎のたからもの』を超えてください」っていうむちゃなお願いをして、今回のエンディングテーマを作曲してもらいました。いい曲を作っていただいて嬉しいです。

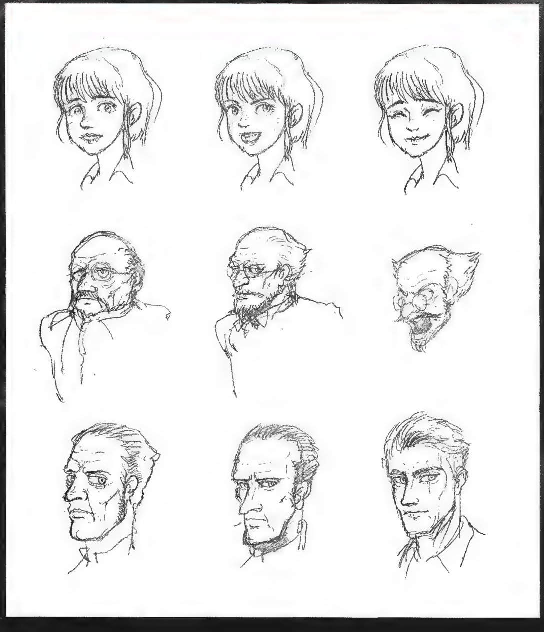
──モンキー・パンチ先生とのやりとりは？

僕はお会いできてないんですよ。完成作をご覧いただいたときにお会いできればと思っていたので、残念です。要所要所でキャラクターを見ていただいたりストーリーを読んでいただいたりしましたが、いつも「よろしくお願いします」とか、「楽しみです」というメッセージをいただいて、すごく自由に制作させてもらいました。様々な名作を生み出した「ルパン三世」の系譜の端っこに3DCGという新たなフォーマットで加われることを本当に光栄に思っています。

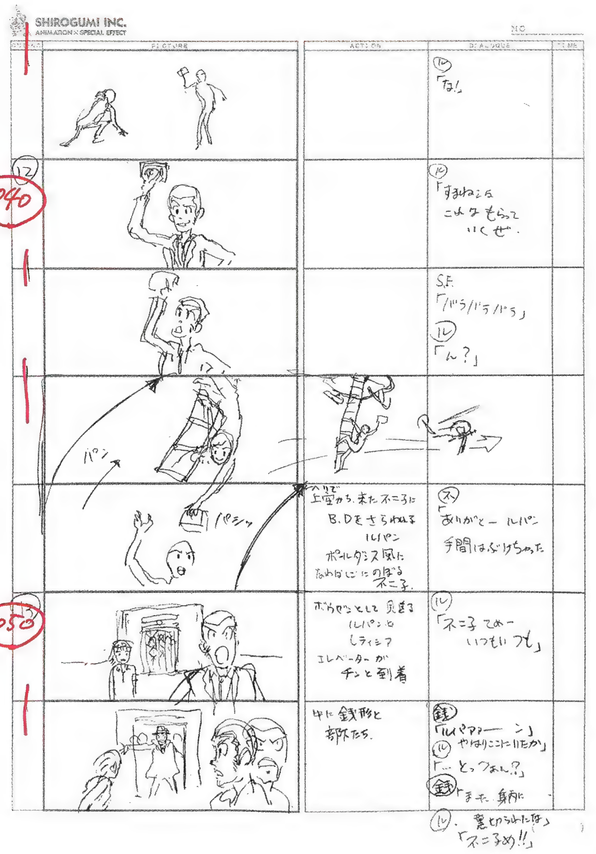
──最後にメッセージもお願いします。

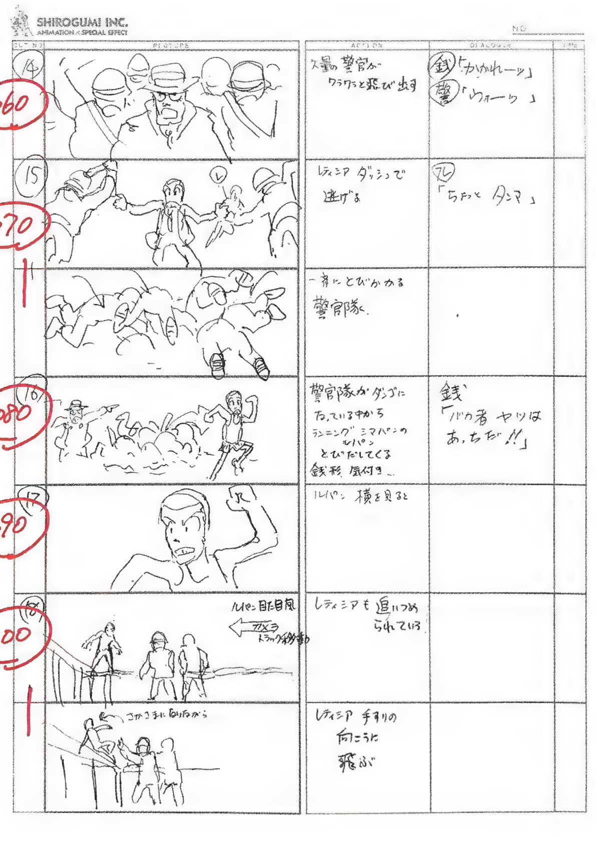
ルパンファミリーのカッコ良さやかわいらしさを詰め込んで、できるだけ皆さんの心の中にいるルパンに近づけるよう努力はしたつもりなので、純粋に楽しんでもらえれば嬉しいです。

山崎監督による レティシア、ランベール、ゲラルトのラフスケッチ



山崎監督によるラフな絵コンテ





PRODUCTION NOTES

『ルパン三世 THE FIRST』企画の経緯

早くからパソコンを駆使してデジタル環境でマンガを描き、デジタルマンガ協会の初代会長も務めたモンキー・パンチ先生が、長年「観たい」と待ち望んでいたのが“3DCGのルパン三世”だった。『ルパン三世VS名探偵コナン THE MOVIE』(13)公開時のインタビューで、「次は3Dで観たい(笑)」と冗談めかして発言したことも。

先生の夢を実現すべく、本作の企画が動き始めたのが2015年夏のこと。まずは、「ルパン三世」等のアニメーションの企画・制作・販売を手がけるトムス・エンタテインメントと、CG長編アニメーションの企画・制作・販売を展開するマーザ・アニメーションプラネットが共同でプロット開発を行った。コンセプトは、「子供から大人まで楽しめるもの。国内のみならず、海外の人にも楽しんでもらえるようなルパン」。

プロットを4つ並行して開発し、徐々に方向性が見えてきたところで、数々のエンターテインメント大作を手がけてきた山崎貴監督にプロジェクトへの参加を打診する。「ルパン三世」ファンだった山崎監督は、VFXやアニメーション、実写映画制作を行う白組の所属ながら参加を決め、脚本も執筆することに。

ストーリーリール制作

2015年秋に山崎監督が加わり、翌年初めから1年ほどかけて脚本を12稿までブラッシュアップ。それをもとに監督が大まかな絵コンテを描き、ストーリーボードチームが肉付けしていくという形で、90分ほどのストーリーリール(※ストーリーボード【≒絵コンテ】をつなげて一本の映像にしたもの)が制作された。これは関係者や一般の方々に見せて意見を聞き、ストーリーのブラッシュアップを図るためのもので、ハリウッド制作の3DCG映画では一般的に行われる工程だが、邦画の長編では初の試みとなる。

最初のストーリーリールが完成したのが2017年の6月頃のこと。「ルパン三世」は声もキャラクターを印象付ける重要な要素で、最終的な映像をイメージする上でも本物の声が入っていた方が良いという判断もあり、この段階で既に主要キャラクターの声は「ルパン三世」シリーズのレギュラー声優陣が務めている。そのため最初のプレスコアリング(=セリフの先行収録)は、ストーリーリール完成の約1か月前、2017年5月に行われた。いつもは完成したアニメ映像を見ながら、その口の動きにセリフを合わせていく声優陣だが、今回は画に縛られることなくセリフを言い、その声に合わせてアニメーションが制作されるという「ルパン三世」シリーズ史上、初めてのシチュエーション。当初、戸惑った声優陣もいたそうだが、ルパン役の栗田貫一はアドリブでダジャレを連発するなどノリノリだったとか。ちなみにそのアドリブのいくつかは本編でも採用されている。

ストーリーリールは、100人ほどの関係者や一般の方に上映。1回目のスクリーニングは、どの作品でもそうなる傾向にあるというが、厳しい意見のフィードバックも多かった。約100ページにわたり、ぎっしりと書き込まれたコメントの数々を制作陣は真摯に受け止め、短期間で相当な量の書き換えが行われた。2017年9月に2回目のストーリーリールが完成すると、1回目と同じように、関係者や一般の方へのスクリーニング→フィードバック→意見の集計・取捨選択→ストーリーリールへの反映……を行った。同11月にストーリーリールの第3弾が完成。こういった過程を経て、ようやくストーリーがほぼ現在の形に固まっていった。

この頃、各シーンの配色やライティング設計の指針となるカラースクリプトも作成。色彩でストーリーをわかりやすくしたり、観客を飽きさせないことを念頭に置きながら、本編における色の移り変わりやバランスなどが考えられていった。基本的な色合いは、監督のリクエストもあり、フランス語圏のマンガ「バンド・デシネ」を意識したものになっている。

3DCGキャラクターの制作

プロジェクトが動き出してすぐの2015年9月頃から、脚本作業と並行して3Dルパンのキャラクターデザインも進められていった。一言でルパンと言っても、テレビスペシャルとテレビシリーズではルパンの表現が変わっているように、今回もいろんな方向性が考えられた。

まずは数名のキャラクターデザイナー／コンセプトアーティストに依頼し、ルパン三世のキャラクターデザインを2Dで30パターンほど用意。関係者で人気投票を行って、その中から3つの候補に絞った。それらをさらに改良していき、最終的に今回のキャラクターデザインが選ばれた。次元大介や石川五ェ門、銭形警部は、ルパン三世のデザインが固まった後、そのテイストを引き継ぐ形で比較的すんなりと決まっていったが、難航したのが峰不二子のキャラクターデザイン。テレビスペシャルでは釣り目のセクシー系、テレビシリーズでは垂れ目の可愛い系と、イメージが違う不二子。スタッフによって好みも分かれる。今回はどちらの方向性で行くのか、体形は細めにするのかグラマーにするのかなど、議論の末に今回のキャラクターデザインにたどり着いた。

2Dのキャラクターデザインから3Dモデルを作るのも、ほんの少しの微妙な違いで“ルパンっぽさ”が失われてしまうこともあるため、かなり難しい作業となった。メインキャラクターについては、2Dのキャラクターデザインをもとに、2名のCGキャラクターモデラーがZbrush(粘土のように3Dモデルを作ることができるソフト)を使い、それぞれの解釈でデジタルマケット(模型)を制作。すると、同じキャラクターデザインから起こしたと思えないほど、違うモデルが上がってきた。採用したのは、CGアニメーションとしての表情がより豊かに作れるモデル。もみあげ、輪郭など、細部の表現にもかなり気を配り、ようやく各キャラクターの3Dモデルが完成した。

今回新たに登場するレティシア、ランベール、ゲラルトのキャラクターデザインについては、最初に山崎監督がラフスケッチを描き、そこからイメージを膨らませていった。ランベールはほぼ監督のデザインが3D化されているが、難航したのがゲラルト。最終的にストーリーリールに仮で描かれたキャラクターが好評だったため、それを取り入れて発展させる形で決まっていった。

3Dキャラクターならではの魅力の一つとして挙げられるのが、質感の豊かさ。衣裳についてもルパン三世のレザージャケットのつやつやした質感は、3Dだからこそ可能になった表現である。不二子の衣裳は、10数種類のデザインが用意され、「まるで高級な衣裳合わせのようだった」と山崎監督。ただし、CGにできるのは予算の関係もあり、その中から数着のみ。厳選された不二子のファッションにも注目だ。

背景・小道具等の制作

ストーリーリール制作の一方で、美術パートも進行していった。アートディレクターが脚本をもとに、まずはリファレンスとなる写真を舞台ごとに用意し、方向性を監督と確認。その後、デザインを開始した。本作の時代背景は1960年代で、主にフランスを舞台にストーリーが展開する。時代考証のために、当時のフランスを撮った写真集をありったけ入手し、綿密なリサーチを行った。たとえば、映画冒頭の見せ場の一つである、高速道路のカーチェイスシーン。当時の高速道路の様子が写っている写真を膨大な資料の中から探し出し、それをもとにより時代感が出るよう中央線のない道路を描いている。また今回、フランス人アニメーションスタッフが数名参加しており、本作のフランスの描写に違和感がないか、彼らからのアドバイスも受けている。

主な小道具についてもアートチームがデザインしている。次元の拳銃、五ェ門の刀など、「ルパン三世」に欠かせない小道具類は、トムス・エンタテインメントにあったアニメ版「ルパン三世」の膨大な量の過去資料を参考にした。ブレッソン・ダイアリーは、“機械式の高級スイス時計”という監督のイメージをもとに具体化。メダリオンの難解なパズルは、粘土を使って考えてひねり出したという。また、レティシアが解読する古代のアッカド語の文字は専門家に監修してもらうという徹底ぶりで、映像に説得力をプラスしている。

キャラクター同様、舞台や小道具についても、ある程度デザインが決まったところで、それを3D化していく作業に突入。レイアウトチームがデジタル環境でのカメラワークやステージングを決定。キャラクターや背景、小道具などはアセットと呼ばれる素材データを制作し、アニメーション作業が行える体制に。

手付けアニメーション～完成

各キャラクターに息を吹き込むアニメーション作業に入ったのが、2017年11月のこと。キャラクターの動きは、人間の動きをモーションキャプチャーで撮影して、そのデータをCGのキャラクターに当てはめる方法が効率が高く一般的なのだが、その方法ではルパンのアニメ的な動きを表現するのは難しいと判断。たとえ時間がかかっても、声優の演技に合わせてキャラクターの動きや表情、細かい仕草をスタッフの手作業で付けていく、手付けアニメーションの手法を取ることに決定した。ただし、担当するアニメーターによって微妙に表現が変わってしまうので、そこを統一するのが難しい。大量のスタッフを動員して一気に作り上げるのではなく、クオリティを保つため、初期段階は少数精鋭のスタッフでコツコツと進行していくこととなった。

デザイナー・アーティストの募集をかけると、世界中にファンがいる「ルパン三世」、そして日本を代表する山崎貴監督のプロジェクトということで、17か国から20人以上の制作スタッフが参加することに。数人の日本人アニメーターとの共同作業を行う仕事場は、各国の言葉が飛び交い、グローバルな雰囲気となった。言葉だけでなく文化も違うためコミュニケーションも活発となり、それが品質の向上にもつながった。

アニメーション作業の際は、髪の毛や服のシミュレーションもきっちりと手を抜かず、ライティングも丁寧に行い、ルパンらしさをしっかりと表現している。キャラクターの表情やモブシーン(例:ルパン三世に群がる銭形と警官たちなど)も、トムス・エンタテインメントにあった資料を参考に、昔ながらのルパンのエッセンスを3Dで表現するように心がけている。加えて本作では、ルパンを初期からずっと描いているレジェンド級のアニメーターたちにも協力を依頼。冒頭の博物館でルパンが天井に逃げるシーン、スプレーが出て煙幕になるシーン、エクリプスのエフェクトなどを描いてもらった。

本作の音楽を務めるのは、ほぼすべての「ルパン三世」シリーズの音楽を手がけている大野雄二。これまでの「ルパン三世」の音楽はジャズのイメージが強いが、今回はオーケストラを使い、新たな「ルパン三世」の音楽を作り上げた。

アートチームによる各場面のイメージ画



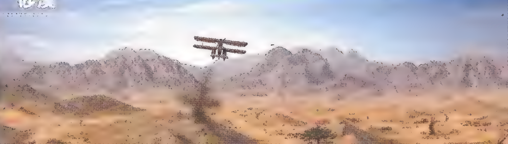






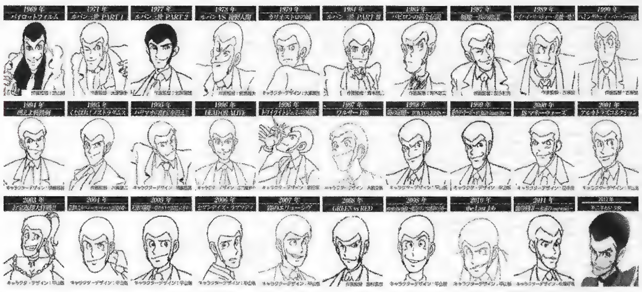






3Dルパンのキャラクターデザインができるまで

ルパンの過去デザインをもとにイメージの確認をし(1)、コンペ形式で複数のアーティストにキャラクターコンセプトの制作を依頼(2)。ディスカッションを経て3つの候補に絞りこみ(3)、詳細までデザインし(4)、Bのルパンに決定。質感等の詳細をブラッシュアップするのと同時に、マケットのモデリングを行い、360度回転させ、立体的におかしくないか検証(5)。動かしやすい形でモデリングし、質感をさらに詰めていき(6)、表情のテストや体の動き、服、髪の毛のテストを行い(7, 8)、3Dルパンのキャラクターが完成。

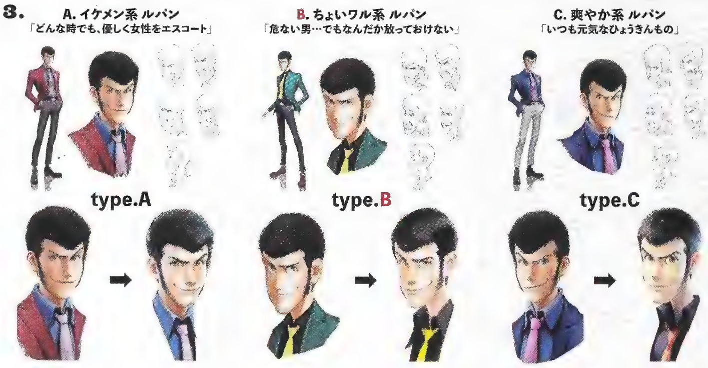


1.

2.



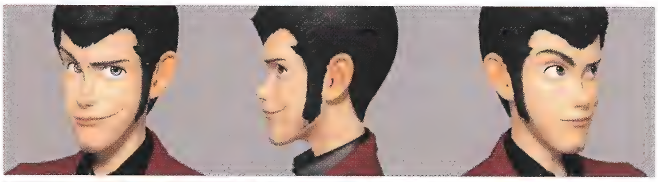
3.



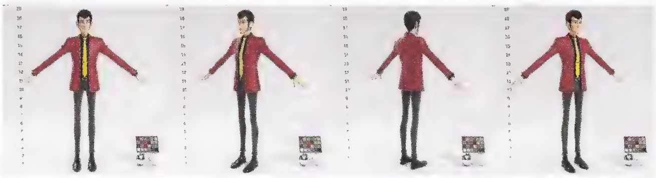
4.



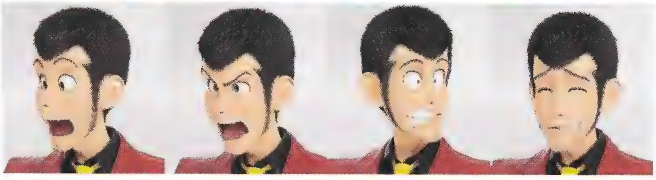
5.



6.



7.



8.



※この扉は映画をご覧になった後で開けることをおススメするぜ

各キャラクターの初期デザイン

このデザインをもとにルパン同様、マケットのモデリングを行い、検証を重ね、質感、表情、動きをブラッシュアップし、3Dのキャラクターが作成された。





博物館にて ルパンが逃げるシーン



『ルパン三世　カリオストロの城』で原画スタッフとなり、その後も「ルパン三世」シリーズの原画や絵コンテ、演出などを長年にわたり手がけてきたアニメーター富沢信雄氏（テレコム・アニメーションフィルム）に動画コンテを依頼したシークエンス。「いつものルパンを」とお願いし、詳細なディレクションはお任せし、動画コンテを制作してもらう（**1**）。それをもとに、3D空間でキャラクターなどを配置し、カメラワークや構図等を決める（レイアウト作業）（**2**）。レイアウトをもとにアニメーションを制作。よりよい動きを付けるために、尺やカメラワークを微調整（**3**）。そのアニメーションをもとにキャラクターの服、髪のシミュレーションを行い、煙などのエフェクトを制作し、データエラーなどがないか確認（**4**）。詳細な色、コントラスト、ライティングの設計を行い、ライティング、コンポジット作業を行って完成（**5**）。

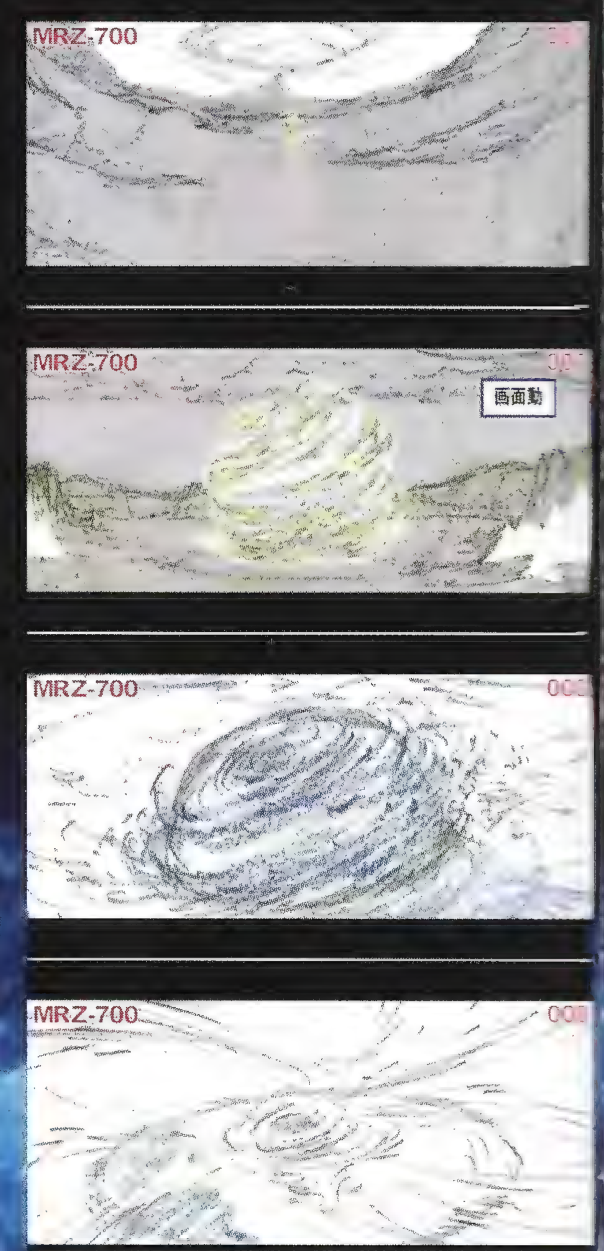
1. 富沢氏による動画コンテより一部抜粋　**2.**　**3.**　**4.**　**5.**



エクリプスの表現

「デビルマン」「マジンガーZ」「宇宙戦艦ヤマト」「銀河鉄道999」ほか数々の名作アニメの原画を担当し、『ルパン三世　カリオストロの城』のカーチェイスシーン、「ルパン三世」シリーズの原画や、総監督等も務めてきたアニメーター友永和秀氏（テレコム・アニメーションフィルム）に、エフェクトのイメージを伝え、詳細なディレクションはお任せし、動画コンテを依頼（**1**）。（**2**）はそれをもとに制作した初期段階のエフェクト。予算、スケジュールを考慮の上、構成を確定後、本格的なエフェクト制作を進める。（**3**）は完成したエフェクト。（**4**）はライティング、コンポジットを行って完成させた映像。

1. 友永氏による動画コンテより一部抜粋







カラースクリプト

映画全体のカラーイメージを決めたもの。何度かディスカッションを繰り返し、最終形のカラースクリプトが完成。これをもとにシークエンスごとのカラーキーが作成される。カラーキーとは、各シークエンスの代表的なショットを選択し、色、コントラスト、ライティングなど詳細なイメージを描いたもので、CG制作時にはマスターショットと呼ばれ、そのシークエンスのライティングやコンポジットを行う際の基準のショットとなる。



エクリプスの遺跡のイメージボード



エクリプスにより変形する飛行艇



山崎貴監督によるラフデザイン

アートディレクター梅田年哉氏によるディテール

変形前の飛行艇

変形後の飛行艇

完成画












栗田貫一 as ルパン三世

KANICHI KURITA

これぞルパン！誰もが知っている王道のルパンがスクリーンに。次元、五ェ門、不二子ちゃん、銭形のとっつぁん、そして…ルパン。いつものメンバーが登場し、ルパンのあのテーマ曲がかかるだけで心躍ります。そして、3DCGの映像！髪の毛の1本1本隅々まで精巧で1度だけだと全てを観きれず、また観て色々なシーンを確認したくなりました。モンキー先生の想いを胸にレギュラーメンバーと豪華なゲストが加わっての3DCG「ルパン三世」を是非お楽しみください。

PROFILE 1958年3月3日生まれ。東京都出身。83年「日本ものまね大賞」(CX)にてデビュー。ものまね四天王としてものまねブームの中心的存在となる。以降、テレビ、舞台、バラエティ番組などで活躍を続ける。「ひょっこりひょうたん島」でドン・ガバチョの声を3代目声優として担当したほか、テレビドラマ「銭形警部」(17／NTV・WOWOW)ではナレーションとして参加。95年の映画『ルパン三世 くたばれ！ノストラダムス』よりルパン三世の声優を担当している。




小林清志 as 次元大介

KIYOSHI KOBAYASHI

この作品の一番の楽しみ、注目点は何と言ってもCGですよね。特に人物。台詞の口元なんかは気になります。私達、声を入れる側にとっては最大の関心事です。作画は、録音するときの私達の口元の撮影から始まっています。それをもとに描くのです。大変な作業です。動きなんかも非常にリアルなのに驚かされます。人物が身近に感じられ、加えて音響がまた凄い。壮大な物語に圧倒されます。見終わったあと思わず声を上げてしまった。いやぁ、壮大な話だ！

PROFILE 1月11日生まれ。東京都出身。主な出演作に、ベム役を演じた「妖怪人間ベム」(68／CX)、「巨人の星」(69／YTV※アームストロング・オズマ役)、『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ！夕陽のカスカベボーイズ』(04※ジャスティス・ラブ役)、「バジリスク～甲賀忍法帖～」(05／独立UHF局※甲賀弾正役)などがある。洋画の吹き替えでは、ジェームズ・コバーン、リー・マーヴィンなどを長年にわたり担当。また、ナレーションの仕事も多く手がけている。「ルパン三世」シリーズは、69年製作のパイロット版から出演している。




沢城みゆき as 峰不二子

MIYUKI SAWASHIRO

ずっと前から知っているルパン。少し前からは懸命にやってきたルパン。なのに、この映画で初めてルパンに会ったような、そんな不思議な観賞後でした。最新の技術の中で、果てしなくのびのびと躍動する彼らを、そしてルパン三世の歴史の中にまたひとり素敵なヒロインが飛び込んできてくれたこの機会をぜひ！劇場で目撃していただきたいです。こんな贅沢な機会に恵まれたのも本当に、ご声援あってのことなのだと…改めて、ファンの皆様に感謝を。そして、完成まで果てしなく小さな仕事を積み重ねた、絵のスタッフの皆様にただただ、大きな大きな拍手を…！

PROFILE 6月2日生まれ。東京都出身。近年の主な出演映画に『ヱヴァンゲリヲン新劇場版:Q』(12※鈴原サクラ役)、『攻殻機動隊ARISE border:2 Ghost Whispers』(13※ロジコマ役)、『ペット』シリーズ(16、19※ギジェット役)ほか多数。2016年より「報道ステーション」(EX)のナレーションを担当。18年より「ゲゲゲの鬼太郎」第6シリーズ(CX)の鬼太郎役を務めている。11年のテレビスペシャル「ルパン三世 血の刻印 ～永遠のmermaid～」(NTV)より峰不二子役を演じている。




浪川大輔 as 石川五ェ門

DAISUKE NAMIKAWA

正直ビックリするほど、ものすごいものに仕上がっていると思います。キャラクターたちのコミカルな動き、景色、カーチェイスなどなど…。挙げたらキリがありません。個人的には、次元の色気がどれだけ増されているんだと思いました。お話も壮大かつ歴史的で、だからと言って決して雑ではなく、いつものお洒落さもしっかりと描かれています。今回は、チーム戦。五ェ門は口数は少ないものの、感情が激しく揺れるシーンも。最後まで気が抜けないドラマ。何度でも観たくなるような映像美。是非堪能してください。

PROFILE 1976年4月2日生まれ。東京都出身。子役時代から声優として活躍し、アニメから洋画の吹き替えまで様々な役を演じる。『スター・ウォーズ』シリーズでは、アナキン・スカイウォーカー役の吹き替えを担当。主な出演作に『機動戦士ガンダムUC』(10※リディ・マーセナス役)、「ロード・エルメロイII世の事件簿 -魔眼蒐集列車 Grace note-」(19／TOKYO MX※ロード・エルメロイII世役)ほか多数。2011年のテレビスペシャル「ルパン三世 血の刻印 ～永遠のmermaid～」(NTV)より石川五ェ門役を演じている。




山寺宏一 as 銭形警部

KOICHI YAMADERA

今回「ルパン三世」が3DCGで劇場公開されると聞いて、大好きな山崎貴監督ですし、もうワクワクしかありませんでした！今回はスケールの大きなストーリーで、ルパン始めレギュラーメンバーにもゲストキャラクターにも見せ場がしっかりとあり、実際にCGになった映像を観て、1カット目で「これはスゴい！」とぶっ飛びました！メインビジュアルになっているハットを被りステッキを持ったルパンを見てお分かりの通り、キャラがそれぞれめちゃくちゃカッコ良くて魅力的！しかも、それが滑らかかつハイスピードで動き回るんですから圧巻です！銭形はもちろん、警官隊のみんなも良い仕事しています。観る者全てを、リアルなルパンワールドに引きずり込むに違いありません！世界中の方々に観ていただきたい画期的なルパン映画です！

PROFILE 1961年6月17日生まれ。宮城県出身。声優、ナレーター、ラジオDJとしてはもちろん、映画、ドラマ、舞台などで俳優としても活躍。「新世紀エヴァンゲリオン」の加持リョウジ役、「それいけ！アンパンマン」のチーズ役、「攻殻機動隊」のトグサ役ほか、人気キャラクターを多数演じる。山崎貴監督作品は、『friends もののけ島のナキ』(11)、『ドラゴン・クエスト ユア・ストーリー』(19)にも出演。2011年のテレビスペシャル「ルパン三世 血の刻印 ～永遠のmermaid～」(NTV)より銭形警部役を演じている。

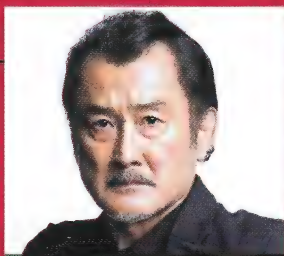
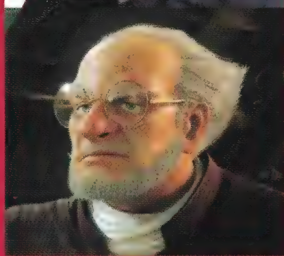
SUZU HIROSE 広瀬すず as レティシア




最初にお話をいただいた時には、作品を壊してしまうのではないかと少し怖い思いもありました。2年前のプレスコの際はルパン役の栗田さんと一緒に収録をさせていただき、役を通して会話をしながらリードしていただきました。3DCGアニメーション化すると、とても現実味があってルパン一味が凄く近い存在に思えました。一人一人のキャラクターが立っていて実際にみんなに会いたいと思ったし、レティシアが抱えている悩みをルパンはちゃんと言葉にしてくれたりして、カッコよすぎて結婚したいと思いました（笑）。勿論ルパン一味は大泥棒ですが、人間同士の繋がりや絆の強さにも感動しました。面白いシーンも沢山ありますが、その後にズシッと重いシーンもあって、先が読めなくていい意味で裏切られる作品です。

PROFILE 1998年6月19日生まれ。静岡県出身。2015年放送のテレビドラマ「学校のカイダン」（NTV）で初主演。同年公開の映画『海街diary』で数々の映画新人賞を受賞。主な出演作に映画『ちはやふる』3部作（16、18）、『四月は君の嘘』（16）、『怒り』（16）、『チア☆ダン～女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話～』（17）、『三度目の殺人』（17）、『先生!、、、好きになってもいいですか？』（17）、『ラプラスの魔女』（18）、『SUNNY 強い気持ち・強い愛』（18）、『ラストレター』『一度死んでみた』（20年公開予定）など。

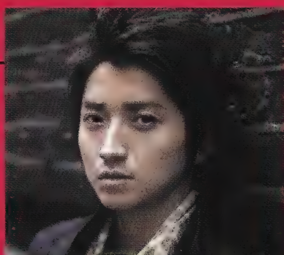
KOUTARO YOSHIDA 吉田鋼太郎 as ランベール

中学生の時、成人コミック誌に掲載されていたこともあり、不二子ちゃんが中々セクシーだったこともあり、かなりドキドキしながらルパン体験をしてました。不滅の人気アニメにまさか自分が声の出演をさせていただくとは夢にも思わず、大変光栄なことと思うと同時にファンの方々の期待を裏切ることになりはしないかとハラハラしています。名だたる共演者の方々の中で自分の出来ることはやれる限りやったつもりなので、どうぞ寛大にご覧になっていただければ幸いです。舞台での共演が多い藤原竜也氏とのアニメでの共演もとても新鮮で楽しかったです。どうぞお楽しみください！

PROFILE 1959年1月14日生まれ。東京都出身。97年、「劇団AUN」を結成し演出も手がける。2013年、「半沢直樹」（TBS）で注目を集める。舞台では蜷川幸雄演出の作品に多く出演し、16年には「彩の国シェイクスピア・シリーズ」2代目芸術監督に就任。近年の主な出演作に、『新宿スワンII』（17）、『帝一の國』（17）、『ちょっと今から仕事やめてくる』（17）、『三度目の殺人』（17）、『嘘を愛する女』（18）、『OVER DRIVE』（18）、『劇場版 おっさんずラブ ～LOVE or DEAD～』（19）、『カイジ ファイナルゲーム』（20年公開予定）など。

TATSUYA FUJIWARA 藤原竜也 as ゲラルト




誰もが知る国民的作品「ルパン三世」の最新映画にゲスト声優として参加させていただき、本当に嬉しかったです。僕自身も幼い頃から観させていただいていた作品でしたので、当初は自分の声が「ルパン」の世界にマッチするのか不安もありましたが、精一杯楽しみながら、取り組ませていただくことができました。今作の魅力は何と言っても、山崎貴監督が手掛けられるハイクオリティーの3DCGですね。日本のアニメーションはココまで来たのか! と驚いております。収録時も、どんな作品が完成するのかワクワクしながら声を吹き込ませていただいておりました。数多くの歴史を築き上げてきた「ルパン三世」という作品が、未だ観たことのないまた新たなアニメーションの歴史を築いていくという、とても貴重なタイミングで参加させていただけたと、心から誇りに思っております。

PROFILE 1982年5月15日生まれ。埼玉県出身。97年、蜷川幸雄演出の舞台「身毒丸」で主演デビュー。映画『バトル・ロワイアル』（00）で数多くの新人賞を受賞。主な出演映画に『デスノート』シリーズ（06、16）、『インシテミル7日間のデス・ゲーム』（10）、『藁の楯 わらのたて』（13）、『るろうに剣心 京都大火編・伝説の最期編』（14）、『僕だけがいない街』（16）、『22年目の告白-私が殺人犯です-』（17）、『Diner ダイナー』（19）、『カイジ ファイナルゲーム』『太陽は動かない』（20年公開予定）など。

MUSIC

YUJI OHNO



大野雄二

静岡県熱海市出身。作曲家／ピアニスト。
小学校でピアノを始め、高校時代にジャズを独学で学ぶ。慶應大学在学中からJAZZピアニストとして活動を始め、白木秀雄クインテットを経て、自らのトリオを結成。解散後は、作曲家として膨大な数のCM音楽制作の他、『犬神家の一族』『人間の証明』などの映画やテレビの音楽も手がけ、数多くの名曲を生み出している。その代表作「ルパン三世」のサウンド・トラックは、70年代後半の大きな話題をさらった。近年は作曲活動としては「ルパン三世」とNHK「小さな旅」に絞り、プレイヤーとして活動を再開。都内ジャズクラブから全国ホール公演、ライブハウス、ロックフェスまで積極的にライブを行う。

INTERVIEW

──まずは「ルパン三世のテーマ」のお話から伺います。今までに何度もアレンジされてきた楽曲だと思いますが、今回も素晴らしかったです。

今までアレンジしてきた数は、未収録や細かいものも入れたら1000以上あるかもしれないね。今回は映画ってことで楽器編成の人数が多かったんだ。色々と細かいアレンジパターンを仕掛けとして組み込んで、ちょっとゴージャスな感じに仕上がっているよ。

──今回のエンディングテーマでは山崎監督から「炎のたからもの」を超えてほしいと依頼があったとか。

監督も無茶なことを言うよね（笑）。僕は書き下ろしの曲を作るとき、相手が求める要素を箇条書きにして、その要素が足りているか確認しながら作るんだけど、そういうときのモードはどちらかと言えば科学的で、芸術家的ではないんだ（笑）。イメージは勝手に湧いてはこないから、湧きやすい状態に自分を持っていく。だから僕にとっては事前の打ち合わせが一番大事で、相手から出た要望を聞きもらさずに作るようにしている。今回は「炎のたからもの」を超える曲ということで、わかりやすいと言えばわかりやすい。自分で作った曲だけど、改めて分析したりしたよ。あとは（作詞担当の）水野さんに託すしかないので、水野さんがそういう気持ちになるようなメロディラインを心がけたね。

──作曲にはどのぐらい時間がかかるのですか？

劇伴（インスト）はそうでもないけど、歌がある曲は時間がかかる。だいたいのメロディが決まってからは2日ぐらいで完成させるけど、そこに至るまで10日ぐらいかかっちゃう。鉛筆と紙を持ってただウロウロして、「ああ、1日経っちゃった」って。朝の5時ぐらいになって「今日はもう寝るか」とか、結構大変なんだよ。メロディが勝手に浮かんできたらこんな楽な商売はないんだけど。でも、そんな苦労して作った曲でも、ものの10日で嫌になっちゃうんだ。もっと良い曲作れなかったのかなぁって。今思えば、僕がずっとプロでやってこられたのは、ちょっとしたハングリー精神を大切にしてきた挙句の果てなのかもしれないな。

──大野さんにとって「ルパン三世」の音楽とは？

これまで手がけた作品の中で、「ルパン三世」は自分が書きたいものに一番近いんだ。自分のやりたいこと全てではなくても、ほぼイコールに近い。というか、40数年かけてお客さんをこっち側に引きこんじゃった（笑）。最初の頃は、僕がモダンジャズのピアニストだからって、いきなりルパンでジャズの専門的なことをやり始めたらお客さんはついてこられないなぁと思ってね。お客さんにもわかりやすい曲調の中へ、恐る恐る自分のやりたいことを少しずつ入れていって……。そういう繰り返しを何年も続けていった結果、40数年も経つと、自分がやりたいことの何をやってもほぼ大丈夫になったってわけ。

──今は、映画・アニメでは「ルパン三世」の音楽以外、手がけられていないんですよね。

作曲活動を何十年もやってきて、やり過ぎちゃったって感じになってきたからね（笑）。ライブは今でも色んな所でやっていて、ルパンの作曲だけはもうひとつのライフワークになっているね。

──今回のサントラ名義はYou & Explosion Bandで、第一線で活躍されているミュージシャンの方々を先生がご指名されているとか。

You & Explosion Bandは、ルパン関係で仕事をするとき用に付けた最初のバンド名で、実力派の一流ミュージシャンを集結したバンド。人数は特に決めていなくて、今回はストリングスセクションだけで32人はいたかな。映画とテレビとでは劇伴を作曲するうえで余り違いがないけど、映画だと編成をふんだんに使えるから面白いね（笑）。レコーディングは早いよ。一回通したら、二回目で本番OKみたいな流れでどんどん録って行くから。

──サントラには61曲も入っていますね。

そうだね。CDに入るだけギュウギュウ入れてみた（笑）。でも、普段のテレビシリーズだと200〜300曲は当たり前に作曲してるから、61曲っていう曲数はあんまり違和感ないんだ。今回のサントラは、「ルパン三世」の音楽のオイシイ曲がいっぱい入っている。ルパン三世スタンダードナンバー集みたいになった。まずはこの一枚を持っておけばいいみたいな、初めての人にもピッタリのCDだと思うよ。



映画『ルパン三世 THE FIRST』オリジナル・サウンドトラック
『LUPIN THE THIRD 〜THE FIRST〜』
You & Explosion Band
VPCG-83542　3,000円+税　Blu-spec CD2
発売中

GIFT

作・編曲：大野雄二
作詞：水野良樹
歌：稲泉りん

あなたは笑顔で　風の向こうへ
すべて出逢いは　一度きり
未来のかおりを残すだけ
その背中は旅に出る

さよなら涙を盗みもせず
わたしの胸に与えたのね
この心には　もう誰からも
奪われない夢がある

あなたがくれたの
たからもの
明日も輝く約束（ちかい）を

あこがれ抱きしめ　言葉にできず
まぶたを閉じた　夜もある
それでも希望が今はある
もうわたしも旅に出る

ありがとう
いつか風に乗って
わたしの声が届けばいい
この心には　もう誰からも
奪われない夢がある

わたしも贈るの
たからもの
明日も言える祈りを

さよなら
きっと夢のなかで
あなたを想うときがくるの
この心には　もう誰からも
奪われない夢がある

あなたがくれたの
たからもの
明日も輝く約束（ちかい）を

明日も輝く約束（ちかい）を

水野良樹

いきものがかり、HIROBA

PROFILE　1982年12月17日生まれ、神奈川県出身。99年2月、小・中・高校と同じ学校に通っていた山下穂尊といきものがかりを結成。99年11月、同級生の妹・吉岡聖恵がいきものがかりの路上ライブに飛び入り参加したことがきっかけで加入。2006年メジャーデビュー。作詞作曲を担当した代表曲に「ありがとう」「YELL」「じょいふる」「風が吹いている」など。国内外を問わず、様々なアーティストに楽曲提供をするほか、ラジオ・テレビ出演、雑誌・webでの連載執筆など幅広い活動を行っている。

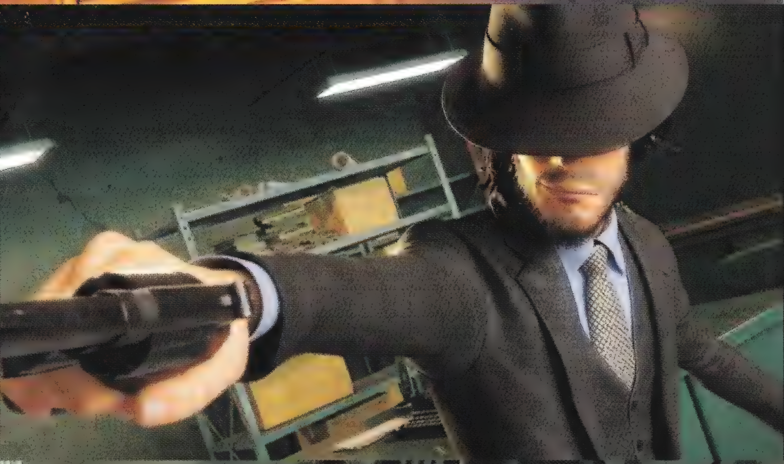
COMMENT
多くの人々に永く愛され続けている「ルパン三世」は輝く"歴史"であるとともに、現在のこの瞬間もみずみずしく躍動する"最新"です。その世界を音楽で彩り続けてきた大野雄二先生のメロディに、歌詞で向き合いました。誰かの心を素敵に奪う作品となりますように。

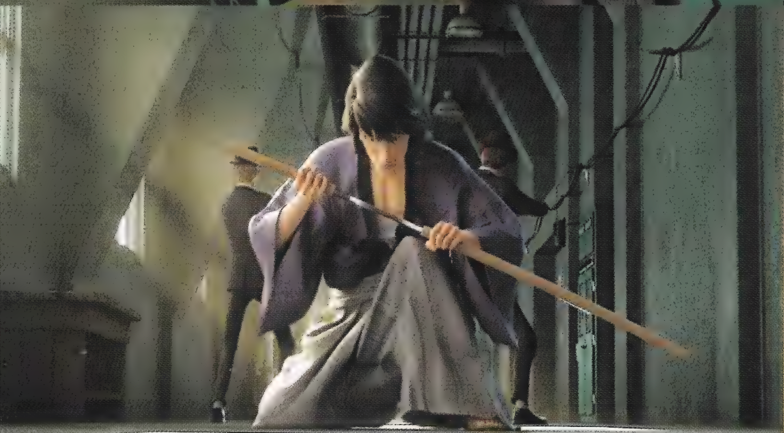
稲泉りん

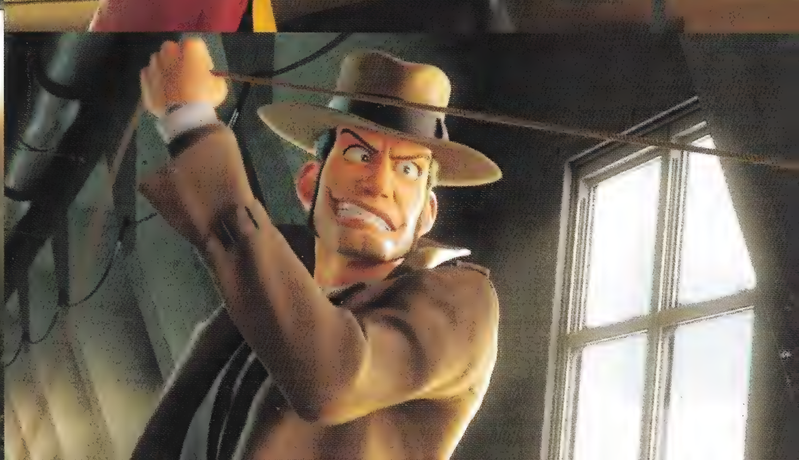
PROFILE　2009年からコーラス・ゲストボーカルとして活動し、MISIA・井上陽水・堂本剛・坂本真綾・Superflyなどのツアーやレコーディングをサポート。16年には、ゲーム「ペルソナ5」の音楽で歌唱。17年に大野雄二トリオのレコーディングに参加したことをきっかけに、コーラスグループFujikochansのメンバーとなる。





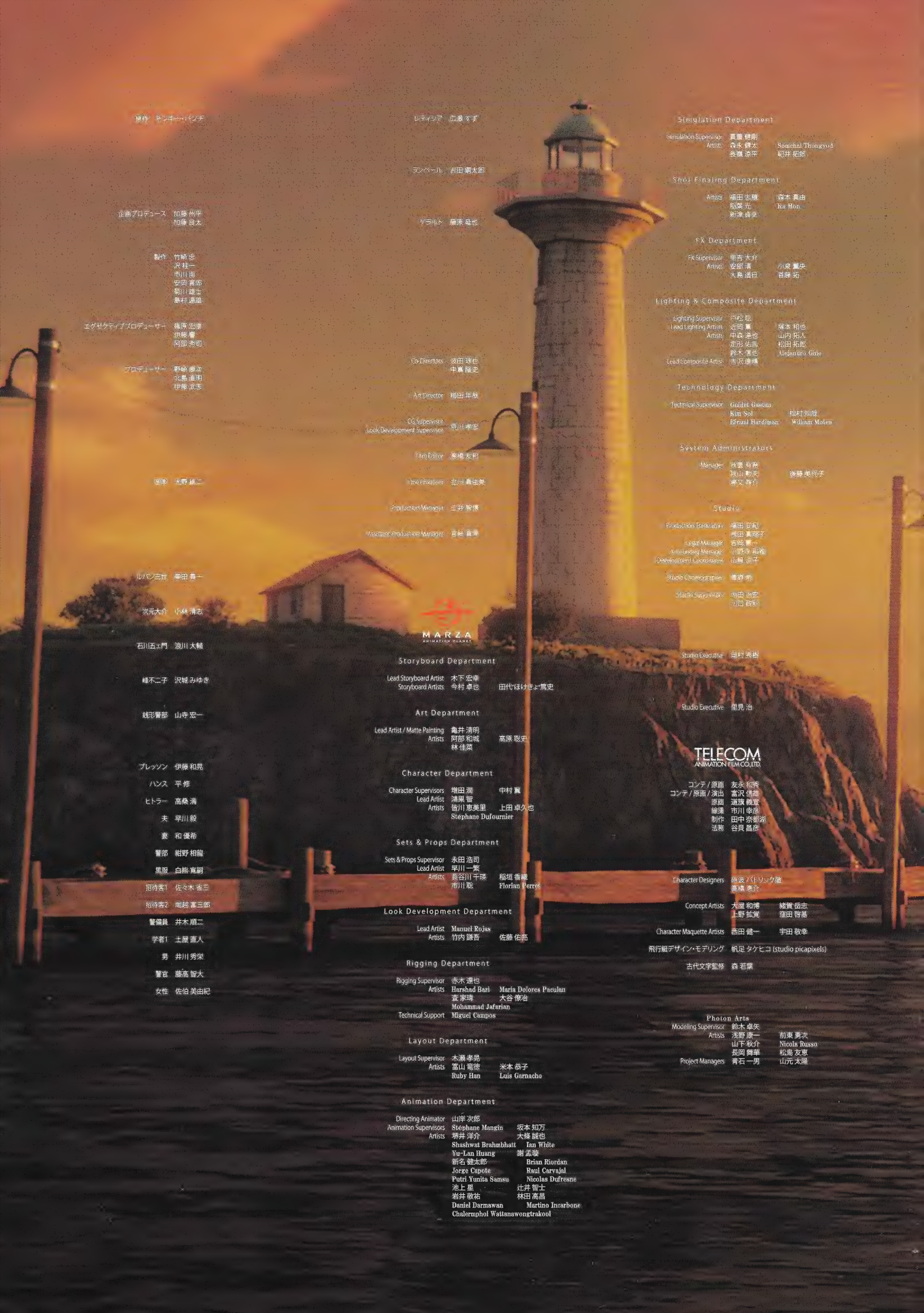










原作 モンキー・パンチ

企画プロデュース 加藤州平
加藤良太

製作 竹崎忠
沢桂一
市川南
安岡憲郎
菊川雄士
藤村遼雄

エグゼクティブプロデューサー 篠原宏康
伊藤響
阿部秀司

プロデューサー 野崎惠央
北島直明
伊藤武志

音楽 大野雄二

ルパン三世 栗田貫一

次元大介 小林清志

石川五ェ門 浪川大輔

峰不二子 沢城みゆき

銭形警部 山寺宏一

プレッソン 伊藤和晃
ハンス 平修
ヒトラー 高桑満
夫 早川毅
妻 和優希
警部 紺野相龍
黒服 白熊寛嗣
招待客1 佐々木省三
招待客2 堀越富三郎
警備員 井木順二
学者1 土屋直人
男 井川秀栄
警官 藤高智大
女性 佐伯美由紀

レティシア 広瀬すず

ランベール 吉田鋼太郎

ゲラルト 藤原竜也

Co-Directors 坂田琢也
中島隆史

Art Director 鵜田年哉

CG Supervisor
Look Development Supervisor 荒川孝宏

Film Editor 高橋友和

Line Producer 立川真由美

Production Manager 三井智博

Assistant Production Manager 宮崎真澄

MARZA ANIMATION PLANET

Storyboard Department

Lead Storyboard Artist 木下宏幸
Storyboard Artists 今村卓也 田代'ほけきょ'篤史

Art Department

Lead Artist / Matte Painting 亀井清明
Artists 阿部和城 高原聡史
林佳菜

Character Department

Character Supervisors 増田潤 中村翼
Lead Artist 鴻巣智
Artists 皆川恵美里 上田卓久也
Stephane Dufournier

Sets & Props Department

Sets & Props Supervisor 永田浩司
Lead Artist 早川一繁
Artists 長谷川千瑛 稲垣香織
市川聡 Florian Perret

Look Development Department

Lead Artist Manuel Rojas
Artists 竹内謙吾 佐藤佑亮

Rigging Department

Rigging Supervisor 赤木達也
Artists Harshad Bari Maria Dolores Paculan
査家瑋 大谷僚治
Mohammad Jafarian
Technical Support Miguel Campos

Layout Department

Layout Supervisor 木瀬孝晃
Artists 冨山竜徳 米本恭子
Ruby Han Luis Garnacho

Animation Department

Directing Animator 山岸次郎
Animation Supervisors Stéphane Mangin 坂本知万
Artists 堺井洋介 大條誠也
Shashwat Brahmbhatt Ian White
Yu-Lan Huang 謝孟璇
新名健太郎 Brian Riordan
Jorge Capote Raul Carvajal
Putri Yunita Samsu Nicolas Dufresne
池上星 辻井智士
岩井敬祐 林田高昌
Daniel Darmawan Martino Incarbone
Chalermphol Wattanawongtrakool

Simulation Department

Simulation Supervisor 真重健嗣
Artists 森永健太 Somchai Thongyod
長嶺涼平 紀井拓郎

Shot Finaling Department

Artists 福田志穂 森本真由
稲葉光 Ka Mon
新津貴幸

FX Department

FX Supervisor 里吉大介
Artists 安部清 小泉薫央
大島通田 首藤拓

Lighting & Composite Department

Lighting Supervisor 戸松敬
Lead Lighting Artists 近岡薫 塚本和也
Artists 中森達也 山内拓人
定形佑馬 松田拓郎
鈴木佳也 Alejandro Ginto
Lead Composite Artist 吉沢康晴

Technology Department

Technical Supervisor Guidet Gaetan
Kim Sol 松村知哉
Efrizal Hardiman William Moten

System Administrators

Manager 秋葉有希
秋山勲夫 後藤美代子
東文啓介

Studio

Production Translators 増田安紀
森田真理子
Legal Manager 吉岡慎一
Accounting Manager 小野寺和雅
Development Coordinator 山崎涼子

Studio Choreographer 瀬野悟

Studio Supervisors 岡田浩宏
川口敦和

Studio Executive 森村秀樹

Studio Executive 里見治

TELECOM ANIMATION FILM CO.,LTD.

コンテ／原画 友永和秀
コンテ／原画／演出 富沢信雄
原画 道籏義宣
線撮 市川幸彦
制作 田中奈都湖
法務 谷貝昌彦

Character Designers 宮波パトリック徹
高橋恵介

Concept Artists 大屋和博 緒賀岳志
上野拡覚 窪田啓基

Character Maquette Artists 西田健一 宇田敬幸

飛行艇デザイン・モデリング 帆足タケヒコ (studio picapixels)

古代文字監修 森若葉

Photon Arts
Modeling Supervisor 鈴木卓矢
Artists 浅野康一 前東勇次
山下秋介 Nicola Russo
長岡舞華 松島友恵
Project Managers 青石一男 山元太陽

TATA ELXSI

Modeling Supervisor Suresh Bhandary
Artists Ankit Jaiswal　Shubham Tijare
Varsha Patil　Umakanta Nayak
Coordinator (Japan) Junko Nakamura

YGGDRAZIL GROUP

Modeling Supervisor Pichaya Popanyasak
Artists Ariyarut Jaroensuk　Bavornsak Udomchimplee
Teerat Soontorntavorn　Natasha Santiparp
Project Manager Piyapon Suksan
Coordinator Thunyarut Thanapan

DANDELION

FX Artists 松浦 太郎　吉田 慶
Production Assistant 泉 貴也
Project Manager 山本 ユミ

オープニング制作
KOO-KI

企画・演出 白川 東一
CGアーティスト 池田 一貴　生嶋 就
山下 裕次郎　石井 真登
大窪 真悟 (風車)　村上 聖
プロデューサー 河原 幸治　嶋村 雅己
2Dエフェクト制作 HOTZIPANG

テンプボイス協力 中台 あきお
永宝 千晶
篠原 剛
小林 操

テンプボイススタジオ協力 TRYBRIDGE STUDIO
テンプボイススタジオ手配協力 キックアップ

クイーンズプロモーション
テンプボイスキャスト手配 緒方 慶子
山村 はづき

テンナイン・コミュニケーション
脚本翻訳 John K.Byington

ディベロップメント協力 守屋 圭一郎 (ROBOT)
渋谷 紀世子 (白組)

編集協力 宮島 竜治 (コマンドZ)

Special Thanks to
橋本 典明　宇津野 周一　中川 雄介　大野 彩絵子
阿部 昭大　岩野 ひより　千葉 友紀子　佐藤 広美
伊藤 晃　羽田 園子　福田 稔　荻原 美雪
守屋 楽弥　堀口 直孝　大西 美枝　Fontworks

Production Babies
Shotaro　Juri　Yuuto　Runa
Kiichi　Reitaro　Ruri　Yumi
Vera & Felix　Kiwa & Sui
Yutoku　Lily-Océane　Itsuki
Haruto　Yuito　Meisa　Arisa

picture element inc.

テクニカルプロデューサー 大屋 哲男
DIプロデューサー／カラーグレーダー 齋藤 精二
フィニッシングエディター 大竹 航
DIアシスタント 島 健太郎　有賀 遼
ポストプロダクションマネージャー 照井 一宏
ポストプロダクション制作デスク 宮下 果代

音響監督 清水 洋史

音響効果 岡瀬 晶彦 (J.S.A.)
高野 寿夫

フォーリーアーティスト 岡瀬 晶彦 (J.S.A.)
川崎 絵瑠　長谷川 剛
安藤 彩

録音調整 池田 裕貴

録音 佐々木 彰　菊地 一之
太田 泰明

録音助手 土井 拓海　浅川 祥幸
中倉 泉　小泉 まい
二川 裕

プレスコ/アフレコスタジオ オムニバス・ジャパン
ピーズスタジオ

ダビングエンジニア 藤島 敬弘

テクニカルサポート 越 真一郎

ダビングスタジオコーディネート 立川 千秋　早川 文人
西野尾 貞明

ダビングスタジオ 東宝ポストプロダクションセンター

音響制作担当 大野 拓也　丹下 雄二

音響制作 TFC 東北新社

音楽制作 松尾 康治 (トムス・ミュージック)
堀田 卓也 (日本テレビ音楽)

映画『ルパン三世 THE FIRST』オリジナル・サウンドトラック (VAP)
作曲・編曲 大野 雄二

演奏 You & Explosion Band

Yuji Ohno & Lupintic Six
ELECTRIC PIANO/ACOUSTIC PIANO 大野 雄二
DRUMS 市原 康
ELECTRIC BASS ミッチー長岡
TRUMPET 松島 啓之
TENOR SAX/ALTO SAX/SOPRANO SAX 鈴木 央紹
ELECTRIC GUITAR/ACOUSTIC GUITAR 和泉 聡志
HAMMOND ORGAN 宮川 純

CHORUS Fujikochans : 佐々木 久美　稲泉 りん　佐々木 詩織

FLUTE/ALTO FLUTE/BASS FLUTE 中川 昌三
LATIN PERCUSSION 川瀬 正人
VIBRAPHONE 大井 貴司

ELECTRIC BASS 岡沢 章
ELECTRIC GUITAR/ACOUSTIC GUITAR 土方 隆行

CLARINET/BASS CLARINET/SOPRANO SAX/ALTO SAX/TENOR SAX 平原 まこと
ALTO SAX 吉永 寿
TENOR SAX 吉田 治
BARITONE SAX 上里 稔　近藤 淳

TRUMPET エリック・ミヤシロ　西村 浩二　二井田 ひとみ
菅家 隆介　高杉 和正
TROMBONE 中川 英二郎　半田 信英
鹿討 奏
BASS TROMBONE 野々下 興一　朝里 勝久
HORN 森 博文　齋藤 善彦
TUBA 若林 毅

STRINGS 吉田宇宙ストリングス
CONDUCTOR 西谷 亮
OBOE 庄司 知史
HARP 斎藤 葉

MANIPULATOR 鈴木 浩之
SYNTHESIZER ポール犬野

RECORDING & MIXING ENGINEER 内藤 岳彦
SECOND ENGINEER 五十嵐 覚 (SOUND CITY)

MASTERING ENGINEER 川崎 洋 (FLAIR MASTERING WORKS)

A&R 小嶋 遼　久留須 麻美　踊 賢二郎 (VAP)
MANAGEMENT 澤藤 弘一　栗林 花佳　大塚 裕子 (オフィスオーガスタ)
RECORDING COORDINATE 間宮 えまり (TABLEAU)

メインテーマ
THEME FROM LUPIN III 2019
作曲 大野 雄二
編曲 大野 雄二
演奏 You & Explosion Band

エンディングテーマ
GIFT
歌 稲泉 りん
作詞 水野 良樹
作曲 大野 雄二
編曲 大野 雄二
演奏 You & Explosion Band

宣伝プロデューサー 小島 壮詩

宣伝 野口 文子　宮崎 隼人　幕内 一男
福地 雄士　福田 果歩

予告篇制作 蔦川 亜希　林崎 ともみ

予告篇演出 福永 大輔

予告篇ＣＧ制作 豊田 知香

宣材デザイン 古里 泰司　重本 大輔　千葉 美沙都

公式サイト制作 渡辺 文野

海外プロモート 鈴木 幸介　金 芝秀

国内番販 岡崎 真美　石井 理恵子　カタオカ パウラ
堀内 音々

商品担当 鈴木 信也　横山 太一

日本テレビ製作デスク 平方 真由美

アソシエイトプロデューサー 鈴木 禎

企画開発 鈴木 常泰

2019映画「ルパン三世」製作委員会

トムス・エンタテインメント
吉川 広太郎　積田 誠　長谷川 千由希　須藤 明　日暮 智仁

日本テレビ放送網
飯沼 伸之　伊藤 卓哉　藤村 直人　深井 英里子　北條 伸樹　佐藤 麻衣子

東宝
臼井 央　鎌田 周平　尾村 明洋　馮 年

バップ
藤本 鈴子　岡本 東郎　末吉 太平　大谷 優一郎

読売テレビ放送
佐々木 加奈　古島 裕己　瀬野尾 光則　中村 拓未

白組
渋谷 紀世子

阿部秀司事務所
矢満田 弘子

札幌テレビ放送
坪内 弘樹　黒田 育郎　木田 淳一　大島 康孝　金川 章人

ミヤギテレビ
昆野 俊行　吉岡 志朗　吉崎 真里子　佐藤 公俊　大和田 雄起夫　萱場 真太郎

静岡第一テレビ
赤座 弘一　野尻 一将　増田 克彦

中京テレビ放送
森 要治　畑中 美香　澤谷 直子

広島テレビ放送
小櫻 顕　佐々木 敏記　川上 陽子　鷺山 研一郎

福岡放送
丸尾 龍彦　金山 直幸　筒井 明彦　木寺 道明

製作幹事
トムス・エンタテインメント　日本テレビ放送網

制作
トムス・エンタテインメント　マーザ・アニメーションプラネット

配給
東宝

監督・脚本
山崎 貴



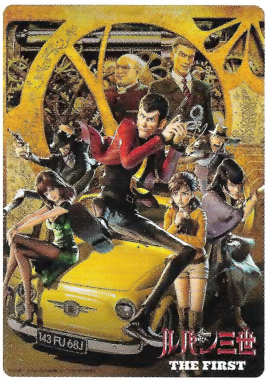


lupin-3rd-movie.com
上映時間:1時間33分／シネマスコープ

発行日:2019年12月6日
発行者:大田圭二
発行所:東宝(株)映像事業部　東京都千代田区有楽町1-2-2
編集:(株)東宝ステラ　東京都千代田区有楽町1-7-1
デザイン:古里泰司　重本大輔　千葉美沙都
編集協力:森祐美子
印刷所:(株)久栄社　東京都中央区新川1-28-44
定価:本体700円+税
http://www.toho.co.jp

ルパン三世 THE FIRST

関連商品のご案内


B5サイズ
3D下敷き 409円(+税)

約34×85cm

フェイスタオル 1,818円(+税)

約10×7.6cm

2種セット
約10×5cm

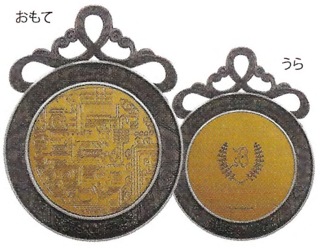
ステッカーセット 364円(+税)


全長約10cm
手錠キーホルダー 1,100円(+税)


2面デザイン仕様
約6cm
ショットグラス 1,000円(+税)


ステンレス製 Φ7.9×14.5cm
ステンレス タンブラー 2,364円(+税)


全5種(ルパン/次元/五ェ門/不二子/銭形)
アクリルキーホルダー 各700円(+税)

おもて
うら

劇中のキーアイテムを再現!
メタル製　直径約8.5cm
コースター 1,364円(+税)

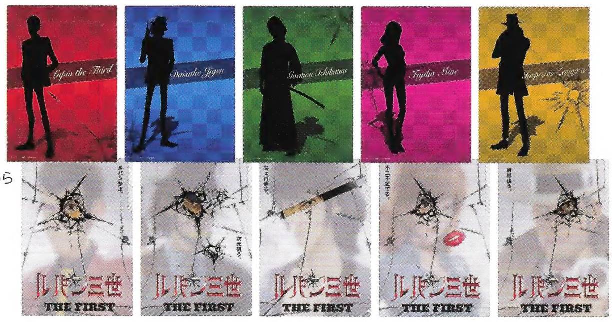

全10種類
※デザインは選べません
約5.8×3.7cm
トレーディング缶バッジ 各600円(+税)

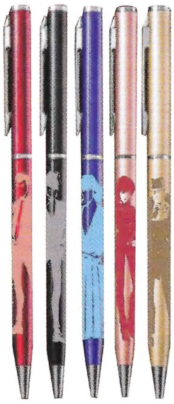

2種セット　約14.8×4.8cm
クリアしおり 636円(+税)

斬鉄剣ボールペン 1,000円(+税)

五ェ門の斬鉄剣をボールペンに!
全長約18cm

キャップ(先端)のみを抜いても使用できる

おもて
うら

A4サイズ　全5種(ルパン/次元/五ェ門/不二子/銭形)
クリアファイル 各400円(+税)


全5種
(ルパン/次元/五ェ門/不二子/銭形)
ボールペン 各545円(+税)


ルパンのシルエットを型押し
本体:合皮製　全長約58cm
カードケース:約W7.5×H11.5cm
ネックストラップ 1,000円(+税)


文庫本サイズ
劇中に登場するブレッソン・ダイアリーがモチーフ
ブックカバー 1,000円(+税)


特製台紙付 6枚セット
ポストカードセット 864円(+税)


ロゴの中にキャラクターをデザイン
Lサイズ
(着丈約74cm/身幅約55cm/袖丈約22cm)
Tシャツ 2,727円(+税)

キャンバス地
本体:約33×39cm
持ち手:約2.5×46cm

トートバッグ 1,636円(+税)


手錠をイメージ
メタル製　約W3.5×H4.5cm
スマートフォンリング 773円(+税)

レザーコインケース 1,818円(+税)

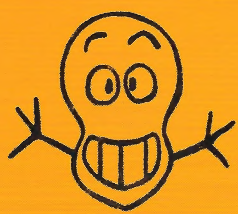
LUPIN IIIのロゴとごくろうさんマーク入り

合皮PU　約9.5×11.5cm

日テレ屋web
https://www.ntvshop.jp/shop/c/clupin1st/

※画像は実際の商品とは異なって見える場合がございます。
※商品のデザイン・仕様は変更になる場合がございます。ご了承ください。
※商品の数には限りがありますので、品切れの際はご了承ください。
※送料は1回のご注文でお届け先1箇所につき全国一律741円(+税)となります。

販売業者:日本テレビ放送網株式会社　事業局通販事業部



4 988104 112538

東宝